

2017年 6月 2号

戦前回帰を許さない！ 共謀罪法案に反対！

2017年6月議会

請願第8号の紹介を、松原のりかず

新市庁舎建設計画の見直しを求める請願



請願者 岐阜市加納西丸町1-5

岐阜市新庁舎を考える会 代表 山内和子 さん

松原のりかず 紹介討論（6月8日・本会議）

岐阜市役所新庁舎建設費については、当初の約200億円と言われていた費用が本年3月議会前に、約254億円に膨らむことが明らかにされました。

東京オリンピックの影響も考えられ、建設費の更なる増大も予測されます。メディアコスモスの事例を見ると、国の建設単価見直しがされた場合の「建設途中での建設費割り増し」も心配されるところです。現在明らかにされている約254億円は、建設費用再増大を予想させる不安定な数字です。

40年後の岐阜市人口は現在の41万人から27万人に減少すると請願者は訴えています。新庁舎の床面積が現庁舎の1.6倍、18階建ての庁舎、現在建設費約254億円の庁舎が必要なのか疑問が寄せられています。

増大する建設費に対し厳しい市民の目がある中で、本年2月24日、中日新聞が報道し、その後各新聞にも相次ぎ報道されたいわゆる「特権エレベーター」については「市長や議員らの安全確保のため」との市説明の報道がありました。しかし、議員については駐車場からの直接移動も予測され、エレベーター利用度が低下すると思われます。各新聞報道を受けて、エレベーター前の扉は撤去されましたが、解りにくい位置のエレベーターである事に変化はなく「市長専用エレベーター」との謗りを免れません。

市長コメントの「市民乗せないと聞いてない」にも、決裁行為を考えますと無理があります。また、市民が同乗しているエレベーター内でのセキュリティーカードの使用、暗証番号の使用は秘密の意味を成さないものになり、説明になりません。いわゆる「特権エレベーター」の疑問だけでも、その説明は破綻しています。

（うら面へつづく）

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

(おもて面からつづき)

ましてや、緊急時の急行の為に使用すとの説明は、緊急時の、警察、消防出動は「事故現場でのエレベーター使用は避け階段使用に」との指導と矛盾します。

既に指摘させて頂きました。環境部東部クリーンセンター破砕機火災事故は未解決です。心配したとおり、業者の前言はひるがえされました。高額な復旧費用が発生し、市財政を圧迫する事になります。事故の復旧に約50億円、新焼却場の建設に約150億円以上と合わせて200億円以上もの予算が必要となります。更には、環境部からは、ビン、カン、ペットボトルの処理施設建設(約30億円)の課題もあります。岐阜市の借金増大への市民の不安が大きくなっています。

豪華な内装と外観のメディアコスモスは約60億円を要しましたが、3年間雨漏りが止まりません。華美を避け、安全で機能的な新庁舎を岐阜市民は求めています。

請願第8号 新市庁舎建設計画の見直しを求める請願 の願いは、ただ1点。
「岐阜市新庁舎の建設計画の見直しを求める。」であります。

議員各位のご賛同をお願い申し上げ、請願紹介とさせていただきます。

請願紹介議員 服部勝弘 田中成佳 堀田信夫 井深正美 原菜穂子 高橋和江
松原のりかず (敬称略)

7月6日 伊藤哲さん公務災害裁判・判決 (名古屋高等裁判所大法廷・15時)



松原のりかず
☎058-253-2500